

11. としま鬼子母神プロジェクト

全国的な人口減少問題に先駆的に取り組むため、平成26年7月から出産前からの切れ目のない子育て支援を展開していく「としま鬼子母神プロジェクト」を開始した。すべての人が安心して子どもを産み育てられる社会を目指し、健康・妊娠・出産・子育ての支援を通じて母性を育み、乳児の健康の保持増進に努めるとともに、家庭の孤立化を防ぐなど、健全な育児環境の確保を図っている。

豊島区では子育て世代の定着率が69%と23区の中で最低水準にあり、出産などを機に区外へ転出する世帯が多く、子育て世代にとって住み続けやすいまちづくりをすすめることが課題となっている。

(注1) 正式な「鬼子母神」の表記は「鬼」の上のツノがない字体になるが、本文中では「鬼」の文字を使用している。

(注2) 子育て世代の定着率：「3歳児健診対象者(a)」を3年前の「妊娠届出数(b)」で割った値(a/b)を算出し、これを妊娠届出提出後に3歳児健診まで区内に定着していた人の割合とみなしている。

□経緯

時 期	内 容
平成26年7月19日	豊島区が23区で唯一“消滅可能性都市”との指摘をうけ、当事者である若年女性たちの声を“女性にやさしいまちづくり”の施策に反映させるため、キックオフイベント「としま100人女子会」を開催。
平成26年8月から12月	「としまF1」会議(6回) 提案が新庁舎での母子手帳交付、としま100人社長会、子育てインフォメーション・ナビゲーター、子育て総合情報スペースの設置等として施策化
平成26年度	「女性のライフプラン形成のための健康相談」、「としま育児サポート手帳」の配付、「としま育児サポーター」の派遣、「妊孕力啓発セミナー」の実施、「としま見る知るモバイル」の配信開始。
平成27年5月7日	池袋保健所1階に「としま鬼子母神plus」を併設。(AIDS知ろう館内)
平成27年7月	「ゆりかご・としま」事業開始。
平成27年11月11日	健康情報発信スペース「鬼子母神plus」をリニューアルオープン。
平成27年11月	「妊婦母乳教室」開始。
平成27年12月	「ゆりかご・ふらっと」事業開始

[1] 女性のための専門相談 ～女性のライフプラン形成のための健康相談事業～

女性の健康で自分らしい生き方や、安心な妊娠・出産・子育てをサポートする総合相談を毎月1回実施。産婦人科医師・助産師・保健師・栄養士・歯科衛生士が個別相談に応じ、女性のからだのメンテナンス体操も行なっている。

□ 女性のための専門相談実績

(単位：人)

区分 年度	回数 (回)	相談件数							メンテナンス 体操
		実人数	延人数	(内訳)					
				産婦人科 医師	助産師	保健師	栄養士	歯科 衛生士	
26年度	7	35	75	23	27	8	7	10	35
27年度	12	46	87	35	14	11	19	8	28
28年度	12	54	236	52	48	46	46	44	43

□ 相談年齢内訳

(単位：人)

年度 \ 歳	20～24	25～29	30～34	35～39	40～49	50～
26年度	0	13	8	10	4	0
27年度	2	3	21	17	3	0
28年度	0	5	20	19	8	2

□ 相談内容（内訳）

※複数回答

(単位：件)

年度 \ 区分	月経	婦人科疾患	性感染症	不妊・不育	妊娠・避妊	女性特有のガン	産後の体調	その他
26年度	8	7	0	3	11	0	8	2
27年度	21	9	0	3	11	0	3	12
28年度	17	5	0	3	12	2	8	25

□ メンテナンス体操

年度 \ 区分	回数（回）	参加者（人）
26年度	7	35
27年度	12	127
28年度	12	377

(注) 女性の骨太健診時の実施分も含む（P86参照）

[2] 母子保健情報の提供・育児サポート

(1) としま見る知るモバイル ～結婚から出産・子育て応援サイト～

平成26年9月1日から女性と子育てのための「としま見る知るモバイル」を配信している。

乳幼児の誕生日を登録すると、自動計算された予防接種の接種時期が事前通知され、健診やイベント案内も配信する。そのほか結婚、妊娠前、妊娠中の女性が知っておきたい情報を積極的に掲載している。

(2) としま育児サポート手帳

乳幼児の健やかな成長と安心子育てを切れ目なく支援するためのツールとして、平成26年9月から、母子健康手帳交付時に別冊として配布している。両親からのメッセージに加え、祖父母や地区担当保健師・助産師等の支援者からのメッセージも記録できる。

(3) としま育児サポーター

「としま育児サポーター」として、助産師が赤ちゃん訪問後のフォロー等きめ細かな支援を行なっている。

□ 見る知るモバイル・育児サポート実績

区分 年度	見る知るモバイル 登録者総数（件）	育児サポート手帳交付数 （冊）	育児サポーター訪問相談 （人）
26年度	1,111	2,817	37
27年度	2,739	3,000	135
28年度	4,260	3,101	179

[3] ゆりかご・としま事業

妊娠期から子育て期までを見通した支援を早期に開始することによって、妊婦の健康増進、安全な出産、不安の少ない子育てにつなげている。また、母子保健部門と子育て支援部門が緊密に連携する「豊島区方式」により、虐待の早期発見のみならず未然防止を行なうことができる。妊娠届出時には助産師が「ゆりかご面接」を行ない、子育て応援グッズを贈り、出産後には保育士等が「おめでとう面接」を行ない、誕生祝い品を贈っている。

また、妊娠期からの母乳育児支援のために、平成27年11月より、ゆりかご相談員（助産師）が母乳教室を実施している。平成27年12月より妊婦同士の交流やグループワーク、ミニ講座を通して産後の育児の孤立化を防ぐための教室「ゆりかご・ふらっと」をゆりかご相談員（助産師）が開催している。

（事業実績は、P.108 10. 母子保健[2] 母子健康手帳の交付 参照）

[4] 鬼子母神 plus ～池袋保健所・健康情報発信スペース～

（豊島区池袋保健所鬼子母神plusの運営に関する要綱 H28年4月27日制定）

(1) 鬼子母神plus

池袋保健所1階に若い方々の誰もが、一生を通してこころもからだも健康に、また、結婚や妊娠・出産・子育て等のライフプランニングを自らの力で行うことを目指して、「鬼子母神plus」を拠点とした情報発信・相談支援事業を展開している。

【エイズ・性の健康エリア】

エイズ、性感染症に関する資料やLGBT等についての情報を収集・展示。

「エイズ知ろう館」の21年にわたる歴史をたどる年表も作成した。

【月替え展示&トピックスエリア】

「トピックスコーナー」では、特に取り上げたいテーマ、「ベネッセコーナー」では、子育て雑誌や親子遊び絵本をそろえてキャラクターとともに季節感あふれる展示を展開している。また、

「今月の本コーナー」では、くまざわ書店池袋店おすすめの書籍を書店員さん手作りのポップとともに月替わりで紹介している。

【若年者の健康エリア】

乳幼児期～高齢期までの健康課題をまとめた健康課題早見表を中心に、生活習慣病、メンタルヘルス、がん検診、栄養、歯と口腔の健康などの多様な健康情報を提供している。その他、子育て支援課（子育て情報）、男女平等推進センター（ワークライフバランス等）、生活産業課（女性としごと）等の情報も展示している。

(2) 運営会議・作業部会

① 会議構成員

- ・運営会議：池袋保健所長、健康担当部長、保健所各課長及び係長、庁内関係課長及び係長（24名）
- ・作業部会：保健所各課より選出（8名）

②会議と主な議事内容

年 度	運営会議		作業部会	
	回数	議事内容等	回数	議事内容等
27 年度	1	・平成 27 年 11 月 1 日 鬼子母神 plus オープン式典 ・27 年度報告	12	・設置の検討 ・レイアウト設計（素案作成） ・展示内容の検討 ・改修工事準備 ・展示替え（毎月）
28 年度	3	・「豊島区池袋保健所鬼子母神 plus の運営に関する要綱」制定 ・鬼子母神 plus の更なる活用について（普及啓発プロジェクト） ・子ども用プレイマットの設置 ・鬼子母神 plus の外部団体への貸出決定 ・要綱改正（外部貸出を追加） ・「オープンスペース」テーブル使用団体及びイベント実施団体募集・決定 ・29 年度月別展示テーマ（案） ・28 年度利用状況報告	13	・作業分担の検討、決定 ・テーマに基づいた展示と情報発信（毎月） ・ベネッセとの調整、展示 ・くまざわ書店との調整・展示 ・ツクモル by としまと連携 ・広報としまを活用した鬼子母神 plus の PR 掲載

[5] 講演会・普及啓発イベント

啓発セミナー

妊娠は女性が直面する大きな健康課題であり、「妊娠する力」は女性・男性のどちらにも関わるものである。産科医師等専門家による講演会の実施や骨太健診の機会をとらえて助産師がミニ講座を実施している。

□ 啓発セミナー実績

年度	区 分	参加人数 (人)	講演会テーマ・講師
26年度		119	「知っておきたい妊娠のこと」10月11日（土） 国立成育医療研究センター 齊藤英和 氏
27年度		76	「いつかママになるために今、出来る健康管理」 こころとからだの元気プラザ理事・診療部長 小田瑞恵 氏
			「男性の生き方、からだところどころ～専門家に聴く～」 藤崎康彦 氏、大橋正和 氏
28年度		16	「少子化対策を考えるワークショップ （大正大学 としま共創事業）」12月16日（金） 大正大学 人間学部社会福祉学科 高橋一弘教授ゼミ にて

□ミニ講座

区 分 年度	受講者数 (人)	講演会テーマ・講師
26年度	270	「女性の健康のために～知ってほしいこと～」 ・ 知っていますか？あなたの心とからだ（助産師） ・ 簡単クッキング～カルシウムを手軽に摂ろう（栄養士） ・ 歯とお口からはじめるアンチエイジングの話（歯科衛生士） ・ メンテナンスできていますか？（運動、休養、節酒、禁煙）（保健師）
27年度	433	
28年度	433	

（注）女性の骨太健診時の実施分も含む（P86参照）